

THE
WAKASAWA
ENERGY
RESEARCH
CENTER

〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

エネ研ニュース Vol.107

<http://www.werc.or.jp/>

平成 29 年 4 月 27 日発行

国際原子力人材育成部門がアクアトムに移転しました

エネ研の福井県国際原子力人材育成センターは、国内はもとよりアジアをはじめとする世界の国々に対して、原子力の安全技術と人材育成に貢献するため、様々な研修や国際会議等を実施しています。この度、研修生の利便性向上を図り、関係機関と連携して研修の実施体制を強化するため、平成 29 年 3 月 26 日に国際人材育成グループがアクアトムの 2 階へ移転しました。

今後、アジアで新たに原子力発電の導入を計画しているマレーシア、インドネシア等の国々からの研修生を対象に原子力関連研修を開催し、アジア地域内の人材養成や原子力教育訓練強化に貢献してまいります。また、IAEAとも連携し、世界の国々との協力連携強化を目的とした国際会議の誘致等を行ってまいります。

移転先 〒914-0063 敦賀市神楽町 2 丁目 2 番 4 号

TEL : 0770-24-7272 FAX : 0770-47-6228



国際人材育成部門の移転先（アクアトム）と案内図



災害対応ロボット技術開発研究会を開催しました

平成 29 年 3 月 28 日、日本原子力発電(株)美浜原子力緊急事態支援センターにおいて第 3 回目となる「災害対応ロボット技術開発研究会」を開催しました。本研究会は原子力災害等に対応する国産ロボット技術を向上することを目的にしており、県内を中心に 21 の会員企業・団体が参加しました。

はじめに、当研究会の開発コーディネータである福井工業大学工学部機械工学科の小沢康美教授から、①研究会の会員である(株)原子力エンジニアリングが研究・試作した空陸両用型ドローンをベースに県内の大学・高専・企業等が協力し、研究会としての試作機を開発すること、②希望する会員は、機体の製作（ワーキンググループ）への参加を通してドローンの構造勉強や活用方法の検証をできるようにすること、が今後の活動方針として示されました。

次に、美浜原子力緊急事態支援センターの概要について進孝男総括グループマネージャーから説明があり、その後、同センターが所有するドローンや無線重機、遠隔操作ロボットのデモ等の視察を実施し、それぞれの特徴、用途、訓練等の内容について説明を行いました。

本研究会では、会員を引き続き募集しております。

お問い合わせは、エネ研・産業育成部（TEL: 0770-24-7276）までどうぞ。



ドローン飛行デモ



小沢教授によるご説明

技術相談室から

地元である若狭湾周辺地域の活性化を目的とする公益財団法人として、エネ研では、技術的な課題を抱える福井県内の企業様のご相談に、経験豊富な技術員が無料で応じています。お気軽にお尋ねください。

TEL: 0770-24-7273

E-mail: soudan@werc.or.jp

海外派遣大学院生の報告会を実施しました

平成29年3月26日のアクアトムの開館式典に併せ、国内原子力人材の国際性向上事業の一環として行っている留学支援の成果報告会を開催しました。本事業は、原子力分野において国際的に活躍できる人材の育成と、原子力の安全性向上への貢献を目的として、福井大学附属国際原子力工学研究所や関西・中京圏等の大学との広域連携に役立てるため、大学院生の海外留学を支援するものです。当日は、各大学院生の指導教官も参加し、研究について積極的な意見交換が行われました。



アクアトムでの報告会



長崎 優真（ながさき ゆうま）さん（H28.10.1～H28.12.20）

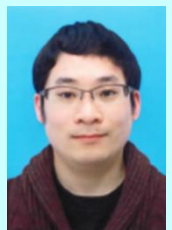
所 属：福井大学大学院 工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻

留学先：チェコ共和国 チェコ科学アカデミー原子核物理研究所

テーマ：造血幹細胞のDNA損傷時に核内で形成される斑点に着目した放射線影響解析

感想「放射線生物影響を解明する一つのアプローチであるDNA損傷の可視化技術を学びました。今後、細胞解析実験の自動化に向けた研究にDNA損傷の解析法を取り入れたいです。」

留学希望者へ「留学に少しでも興味を持っているならぜひ行ってほしいです。現地で仲良くなった友達やお世話になった方々は自分だけのコネクションになり、一生の財産になると思います。」



近藤 俊樹（こんどう としき）さん（H29.1.10～H29.2.10）

所 属：大阪大学大学院 工学研究科 環境・エネルギー工学専攻

留学先：ドイツ連邦共和国 ドイツ航空宇宙センター（右の写真）

テーマ：ガス浮遊法による炉心溶融物の物性評価

感想「原発のシビアアクシデントの対応として、ガス浮遊法による溶融酸化物の測定方法と装置の仕組みを学び、日本で新たにこの装置を作るための知識を獲得することができました。」

留学希望者へ「生活面でも実験でも、わからないことはすぐに聞きましょう。皆さん親切に教えてください、逆にすぐに聞けなかったことを注意されます。自分の意見もしっかり言うといいと思います。」



青木 祐太郎（あおき ゆうたろう）さん（H28.10.10～H28.12.10）

所 属：福井工業大学大学院 工学研究科 応用理工学専攻

留学先：カナダ オンタリオ州立オンタリオ工科大学（UOIT）

テーマ：ゲル線量計の中性子効果の研究

感想「UOITが所持する中性子発生装置等の設備を使用し、私の所属する研究室で開発したゲル線量計が中性子に対して感度を示すことを明らかにすることができました。」

留学希望者へ「留学中の健康維持が最重要。また、留学先の指導教員と共にその週、その日の計画を立てることは円滑な研究のため重要です。普段使用している実験試料等は、できれば持っていくとよい。」



新メンバー紹介（平成29年4月1日付）



研究開発部長
たかやま こういち
高山 宏一

エネ研の研究開発部長に着任しました。これまで日本原子力研究開発機構において「ふげん」、「もんじゅ」のプラント運営管理に携わってきました。

今年度は、エネ研の第4期中期事業計画（平成27年度～31年度）の3年度目に当たり、研究開発の分野では、「レーザー技術を応用した研究・開発」、「農業・生物分野での理化学研究所との共同研究」、「水素関連の調査研究事業」に重点を置いて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

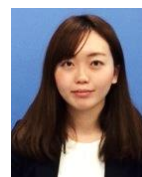


企画支援広報部主幹

あざい あきら
浅井 明

担当：部の総括

エネ研ニュース



福井県国際原子力人材
育成センター主事

おしま みきこ
小島 未来子

担当：研修の企画、実施

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。
良かった記事、取り上げてほしい記事、センターへのご要望など、何でも結構です。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail: kikakushien@werc.or.jp TEL: 0770-24-7270 FAX: 0770-24-7275

